

食育の木を育てよう

子どもたちが健全な心と身体を培い、未来に向けて羽ばたくことができるようにするために、「食」はきわめて重要です。

しかし、児童生徒の食生活をめぐっては、食の安全安心に関わる数々の事案の発生や肥満、生活習慣病の増加、栄養バランスの偏った食事、不規則な食事の増加など様々な課題が生じています。

こうした中で子どもたちに豊かな人間性を育みたくましく生きていく基礎を身につけるためには、様々な体験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる、「食育」の推進が極めて重要です。学校における食育は、子どもたちに食に関する知識を教えるだけでなく、知識を正しい食事の在り方や望ましい食習慣の形成に結び付け、子どもたちが生涯にわたって健康で生き生きした生活を送る基礎を培っていくものです。また「食育」を通じて、学校、家庭、地域等の様々な分野において、地域の歴史や食文化を見つめ直すなど、自分たちの暮らす地域のことについて食を通じた理解が深めることができます。

表紙にある木の絵のような食育は給食の時間だけでなく、教科等における指導や家庭において食事を通して感謝の気持ち等を育てていくことにより、大きく育っていくものです。この「食育の木」を育てることは、子どもたちの芽を大きく育てることにつながります。

このように子どもたち一人ひとりを大きな木に育てていくことを目指し、県内各地で学校における食育の更なる充実を図っていくため、このたび、「食に関する指導資料集」を作成しました。

各学校等においては、本資料集を広くご活用いただき、全教職員の共通理解を図りながら、子どもたちの笑顔が広がっていく食に関する指導が充実されることを期待しています。

終わりに、本資料集の作成に当たり、貴重なご意見やご助言を賜りました「愛媛県子どもの健康を育む総合食育推進事業検討委員会」委員の皆様方をはじめ、本資料集の作成に携わっていただきました関係者の方々に対し、厚くお礼を申し上げます。

平成21年2月

愛媛県教育委員会教育長

藤岡 澄